

謹 賀 新 年



ひのえうま 絵馬「丙午」(枚岡神社)

2026年に迎える十干十二支「丙午」の「丙」は、十干の3番目にあたり、太陽のような明るさや情熱、強い意志を象徴している。また、十二支の7番目にあたる「午」は馬を表し、古代より生活の要であり、健康や豊作、発展の象徴とされてきた。

よって、「丙午」の年は情熱と行動力で突き進む、燃え盛るようなエネルギーで道を切り拓く年になると考えられている。

前回の「丙午」は1966年、戦後最長の消費主導型景気拡大局面である「いざなぎ景気」に沸き、わが国経済が拡大する中、総人口は1億人を突破。日本人の海外観光渡航の回数制限が撤廃、今なお親しまれているナショナルブランド商品も数多く誕生し、日本初の電子腕時計の発売やコインランドリーの開店など、国民の生活と意識は変化の萌芽を見せている。また、祝日法改正により建国記念の日・敬老の日・体育の日が制定されたのもこの年である。陽気と活気に満ちた吉祥の干支である丙午。この勢いを様々な難局を乗り越えるための原動力として、輝ける未来への飛躍の年としたい。